

植林やCO₂排出削減など多彩な展開 持続可能な社会の実現へ教育啓発活動にも工夫

三菱商事、日本航空、東京海上日動火災保険の3社が、業種を超えて共催している「丸の内市民環境フォーラム」。1993年からほぼ年3回のペースで開催し、多彩な講師が社会を取り巻く様々な環境問題をテーマに取り上げ、多くの市民の参加を得ている。環境共生都市として新たなまちづくりに取り組んでいる東京・丸の内での啓発講座が、3月の開催で50回という節目を迎えるのを機会に、共催3社にCSR活動や環境問題への取り組みなどを語り合ってもらった。



本業を通じた環境保全に注力

—業種の異なる3社が、それぞれの特徴を活かしながら、本業を通じた環境活動に取り組んでいますね。

村木 東京海上日動は、地球温暖化対策が評価されて環境省より「エコ・ファースト企業」の認定を受けました。



東京海上日動火災保険株式会社
経営企画部部長 兼 CSR 室長
村木 満氏

そこで宣言した3つの「エコ・ファーストの約束」の第1が、本業の保険事業を通じた取り組みで、お客様が冊子の約款ではなく「ウェブ約款」を選択すると、契約1件につきマングローブの苗木2本を植えるという仕組みを導入しました。これは、「地球の未来にける保険」として、1999年から東南アジアで「マングローブ植林事業」に

取り組んでいたことがベースになっており、2007年にはこの事業の100年継続を宣言しました。

島田 三菱商事も、環境への取り組みの1つとして森林の問題に力を入れています。1990年からマレーシアで始めた「熱帯林再生実験プロジェクト」は、現地固有の植物を密植・混植方式で植林し、熱帯林の短期再生を目指すというもので、現在ブラジルとケニアでも進行中です。また、カナダのパルプ事業では、森林の再生能力を損なわないように、580万ヘクタールの管理森林のうち伐採は年間1万ヘクタールに限っています。同事業では単一林区としては世界最大のFSC（持続可能な森林管理）認証を取得しています。

阿部 日本航空の森林関係では、いかにも航空会社らしい社会貢献活動として、シベリアやアラスカ、インドネシアの森林火災の発見・通報があります。これは、人工衛星の監視をカバーして火災発見の精度を上げるもので、CO₂吸収源である森林の火災抑制の取り組みに貢献しています。また、地球温暖化をもたらす大気変動のメカニズムの解明のための「大気観測プロジェクト」への協力もあります。

村木 気候変動については、東京海上日動も、それによる自然災害への影響に関する研究を産学連携で実施しています。将来的には、この研究成果を保険事業に活かし、成果を公表することで広く社会一般にも貢献していくことを目指しています。

CO₂の抑制と排出権取引

—地球温暖化の要因となっているCO₂の吸収力を強化するのが植林ですが、排出抑制にも工夫を凝らしていますね。

阿部 航空会社として化石燃料を使って航空機を運航し、環境に負荷を与えていることを認識しています。従って、CO₂排出削減は会社にとって重要な



株式会社日本航空
地球環境部部長
阿部 泰典氏

テーマです。新型機への機材更新はもちろん、運航現場での取り組みに「テーマードアライバル」があります。この方式は、エンジンの推力を上げずにグライダーのように高度を下げるので、1便当たり最大8.6トンのCO₂排出を減らせます。2008年6月から米国サンフランシスコ空港で実施しています。また、半年に1度、エンジンを定期的に水洗いすることで、全機が排出するCO₂量を年間約5万1000トン削減できると試算しています。

村木 先程の「エコ・ファーストの約束」の第2が、自社グループや代理店の環境負荷削減です。事業活動に伴うCO₂排出量を2012年度までに2006年度実績対比6%削減する目標を掲げています。2007年度のCO₂排出量は約6万5000トンですが、既に2007年末に、事業活動に伴うCO₂排出量をマングローブ植林事業と排出権によりオフセットし、カーボン・ニュートラルを達成しました。2011年度には東京海上グループとして、グローバルに「カーボン・ニュートラル」の実現を目指します。

島田 三菱商事は、総合商社ならではのグローバルかつ地域に密着した展開を活かし、環境ビジネス、事業推進上

の環境配慮、環境保全活動の観点に立って事業を進めています。主な環境ビジネスでは、排出クレジット関連事業や、太陽光発電などの新エネルギー事業や、フィリピンの上下水道民営化事業の参加など、環境・水事業にも取り組んでいます。

「環境を考える力」を強化する

—3月に、「丸の内市民環境フォーラム」は50回目を迎えますが、地球環境の改善には教育、啓発も重要です。

村木 「丸の内市民環境フォーラム」は市民のみならずからご支持いただき、続けてきてよかったと思っています。また、「エコ・ファーストの約束」の第3が環境啓発・社会貢献活動で、3年間で8130人が参加した小学校への出前授業「みどりの授業」は今後も継続、さらに今年度創設した「こども環境大賞」「地球教室」を通じて、次代を担う子供たちに地球環境の大切さを働きかけていきます。

阿部 日本航空では、運航乗務員による小中学校への出前講座「そらいく」を実施しています。北極海の氷が解ける様子をパイロットが撮影した写真などを使用、「空から見た環境」をテーマにしているのですが、評判はいいですね。

丸の内市民環境フォーラムがユニーク



三菱商事株式会社
環境・CSR推進室長
島田 進司氏

なのは、3社が業種を超えて連携し、市民のみならずに直接アピールしていることです。「継続は力なり」ですので、今後はさらに充実したフォーラムにしていきたいですね。

島田 三菱商事は、2008年3月に8人の社外有識者による「環境・CSRアドバイザリーコミッティー」を設置しました。メンバーの皆様からは「厳しい経済状況だからこそ環境対策に力を入れるべきであり、明確なメッセージを残せるチャンスだ」と励まされました。「丸の内市民環境フォーラム」はまさに市民のみならずと問題点を共有するいい機会だと思います。今後もこのフォーラムを通じて情報を発信し、持続可能な社会を実現していきたいと考えています。

第50回「丸の内市民環境フォーラム」開催

50回を迎える今回は、女優の紺野美沙子さんを講師に迎えて開催します。講演テーマは、1998年に国連開発計画（UNDP）の親善大使に就任して今年で10年目を迎える紺野さんに「アジア・アフリカの開発途上国視察の現状」など体験談を語っていただきます。

- 日 時：3月3日（火）18：30～20：00（18：00開場）
 - 会 場：三菱商事ビルディング3F大会議室（東京都千代田区丸の内2-3-1）
 - 定 員：300人（応募多数の場合は抽選）
 - 応 募 方 法：往復ハガキに、住所、氏名（ハガキ1枚に2名様まで）、電話番号、年齢、職業を明記の上、下記住所にお申し込みください。2月6日（金）締切（当日消印有効）
 - お申し込み先：〒100-8086 東京都千代田区丸の内2-3-1 三菱商事株式会社 環境・CSR推進室 第50回丸の内市民環境フォーラム事務局E係
 - お問い合わせ：丸の内市民環境フォーラム事務局 TEL.03-3210-2754（平日9：30～17：30）
- ※お預かりした個人情報は本フォーラムの実施・運営に関する範囲に限った利用を行い、その他の目的には利用いたしません。

